

Re:竹デザイン & コネクション

～竹からつながる人と地域 & 伝統と新たなデザイン～



竹林景観ネットワーク ×
竹サロン ×
竹イノベーション研究会 (関東支部)

9.23 2021
Thu.
18:00 - 20:30 **zoom**

18:00 - 18:05	開催挨拶	竹林景観ネットワーク 鈴木 重雄
18:05 - 18:40	【基調講演】竹が示す、社会のデザイン	武蔵野美術大学 教授 若杉 浩一
18:40 - 19:00	竹の伝統工芸の現状	・東洋竹工株式会社 取締役会長 大塚 正洋 ・竹虎株式会社山岸竹材店 社長 山岸 義浩
19:00 - 19:15	竹の特殊化したデザイン紹介	武蔵野美術大学大学院生 オウ ケイシン セキ ジャクウ
19:15 - 19:35	竹コミュニティデザイン	・藪の傍 代表 小関 皆乎 ・九州工業大学大学院工学府 長谷川 逸人
19:35 - 20:15	竹デザインの未来はあるか？	ディスカッション
20:15 - 20:25	質問対応	
20:25 - 20:30	終了挨拶	竹イノベーション研究会 関東支部 田中 義朗 ＜総合司会＞竹サロン 小林 慧人

Profile

若杉 浩一 武蔵野美術大学 教授

企業でマスコットデザインをやりながら、デザインの疑問を感じ自ら、地域とデザインの関係性を模索、2002年「日本全国スギダラケ倶楽部」創設。地域の自然資本とデザインの可能性を模索。全く相反するデザイン活動を20年続けるうちに、大学で教鞭をとることに、そしてついに竹に出会い思いの丈を語るハメに。

大塚 正洋 東洋竹工株式会社 取締役会長

明治創業の竹材業から加工業へ転換。東洋の竹を西洋へ。「ないものづくり大好き企業」竹敷居すべり、竹箆電気自動車「バンガー」導電ピンセット、昔あって現在ないものなどなど製作。

山岸 義浩 竹虎株式会社山岸竹材店 社長

明治27年(1894年)の老舗竹屋四代目。高知でしか成育しない日本唯一の虎斑竹という地域資源の魅力を発信。虎竹電気自動車「竹トラック」製作、横浜まで1000kmを走破。世界竹会議基調講演でメキシコラン挑戦。2019年虎竹ボックスカート「REIWA-125号」製作。スペイン・ビトリアで開催のレースで特別感謝賞。

オウ ケイシン 武蔵野美術大学院生

上海出身、現在武蔵野美術大学、造形構想研究科在学中の二年生。ロスマテリアルの対象材料として地域に存在する竹の端材の利活用を研究。竹の組み立てキット「Bnimals」制作、個展、ネット販売を予定。株式会社ユカイ工学と一緒に竹ロボットキットを開発中。

セキ ジャクウ 武蔵野美術大学院生

中国の天津市出身、武蔵野美術大学の工芸工業デザイン学科を出て、同じ大学の大学院若杉先生ゼミに入り。学部を選択履修の授業「Bamboo design」で初めて「竹」という素材に触れ、日本竹細工の巨匠大橋重臣さんに出会い、再び「竹」に向け合い、彼の指導を受けながら卒業制作を行なっている。

小関 ^{みなこ} 皆乎 藪の傍 代表

焚き物や道具の材を求めて竹林に入り、気づかずに整備していた頃に倣い、次世代が“夢の実現の場”として入りたい竹林を模索中。

長谷川 逸人 九州工業大学大学院環境デザイン研究室博士後期課程

研究テーマは、地域計画と連動した環境マネジメント、コミュニティ形成のプロセス。福岡県福津市では、環境基本計画・生物多様性地域戦略の実践に関わりながら、竹林拡大が問題となっている里山を対象に地域住民と協働で保全・活用の仕組みづくりに取り組む。